

原材料の持続可能な調達

重要原材料の特定

味の素グループは、事業活動で利用する原材料を網羅的に把握した上で、関連部門や社外有識者で分析し、重点的に取り組むべき重要原材料を特定しています。

特定にあたっては、当該原材料への依存度、代替可否、地球環境の持続性への関わり大きさ等の総合的視点で判断しています。特に、気候変動、生物多様性、人権問題等と大きく関わる森林減少の抑制が重要と考えており、パーム油や紙等の農林資源に関する取り組みを強化しています。また、2020年度までに「100%持続可能なパーム油、紙の調達」を目標（p62参照）としています。

持続可能なパーム油の調達推進

味の素グループがパーム油（パーム核油含む）を使用している製品は、カップスープ、即席麺、コーヒークリーム等の加工食品や化成品等多岐にわたっており、使用する地域も日本、東南アジア、欧州、南米にまたがっています。一部の製品では認証品の調達が困難なパーム核油を使用していること、一部の地域では認証パーム油の供給が限られることから、味の素グループではRSPO*1の認証品またはトレーサビリティの確認のとれたものをもって「持続可能」としています。2018年度のパーム油の使用実績は約36,700トンで、そのうち認証品は25%となりました。トレーサビリティの確認のとれたパーム油の使用実績は現在集計中です。



*1 Roundtable on Sustainable Palm Oil: 持続可能なパーム油のための円卓会議

持続可能な紙の利用推進

味の素グループは、「紙の調達ガイドライン」に基づき、容器包装用紙の持続可能な調達を進めています。

ガイドラインでは、保護価値の高い地域の森林破壊に関与せず、かつ原木生産地の法令および国際的な人権基準を守り、適切な手続きで生産する事業者から調達した紙をもって「持続可能」としています。持続可能な紙には、FSC®*2等の認証紙だけでなく、再生紙、FSC®管理木材由来の紙も含まれます。

2018年度、日本の容器包装用紙における持続可能な紙の使用率は全使用量の95%となりました。海外については2018年度の調査に着手しており、集計を実施中です。

*2 Forest Stewardship Council®: 森林管理協議会

▶ 詳細は「サステナビリティデータブック2019」をご覧ください。
<https://www.ajinomoto.com/jp/activity/>